

えひめ 健康だより

2001年
3月
No. 3



平成13年度 健診事業計画打合会

肺がんデジタル検診有効性評価事業

協会のホームページ開設

婦人検診車完成

マンモグラフィのおすすめ

インフォメーション

複十字シール運動・がん征圧募金

・わたしの街から - 吉海町保健センター



財団法人 愛媛県総合保健協会

平成13年度 健診事業計画打合会



平成13年度の市町村における健診計画策定のため、平成12年10月2日より各地域ごとに説明会が行われました。このような打合会は、各市町村の担当者の方々と交流を深めるとともに、健診に

ついでの意見交換の場として年2回行っています。

今回は、事業報告、肺がんデジタル検診(CT・CR)経過報告、13年度健診計画、健診料金等について当協会から報告した後、市町村からの質疑応答により、12年度の健診に対する要望や次年度の健診計画に対する協会の対応等について、熱心に討議されました。

この打合会の後日、市町村から検診日程等の提出をいただき、可能な限り要望に沿えるよう検討を行いながら、検診日を決定していきますが、検診車両台数等制限がありますので、検診日程は早期に協会と調整をしていただくよう、よろしくお願いいたします。

肺がんデジタル検診有効性評価事業

従来のX線間接撮影とCT・CR検診との有効性を比較評価するため、平成12年度肺がんデジタル検診有効性評価事業が行われます。愛媛県と10月11日付けで委託契約を締結し、委託契約書第7条の規定に基づき提出した事業計画が10月18日、承認されました。

これに伴う委託料は、検診事業としてCT・CR検診補助金に、評価事業として有効性評価委員会運営費、デジタル検診読影講習会開催費、有効性評価事業中間報告書作成費に充てられます。

また、肺がんデジタル検診関連システムの開発・拡充事業として、CT装置へ受診者情報のやり取りをするソフトウェアの開発、現在まで使用した受付用ソフトウェアの改良、評価事業用としてCR検診車のハードディスク容量増強、読影端末のハードディスク容量増強、読影端末への一般用光磁気ディスク導入、読影所見システムと検診報告システムの拡充等にも事業計画に基づき使用される予定です。



協会のホームページ開設

協会のホームページができました。アドレスは<http://www.eghca.or.jp>です。

各部署ごとにメールアドレスも設定しましたので、活用いただくとともに、ホームページの内容に関するご意見等をお待ちしております。

総務部 soumu@eghca.or.jp

事業部

業務推進課・健診業務課 zigyou3@eghca.or.jp

情報統計課 zigyou2@eghca.or.jp

健診部

放射線課 kensin1@eghca.or.jp

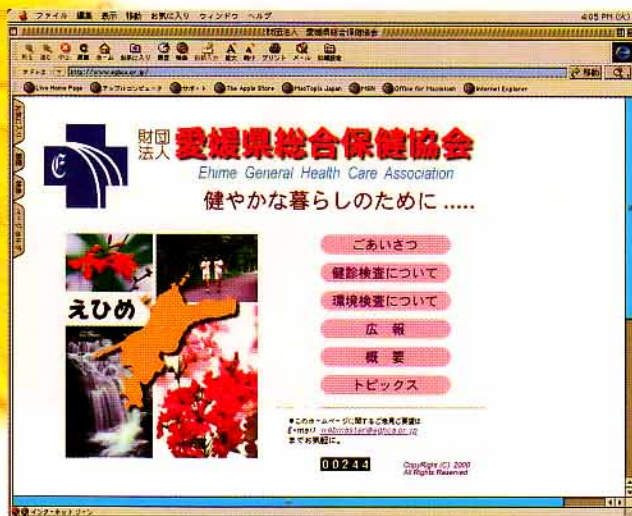
病理検査課 kensin2@eghca.or.jp

臨床検査課・看護課 kensin3@eghca.or.jp

環境部 kankyou@eghca.or.jp

東予支所 touyo@eghca.or.jp

南予支所 nanyo@eghca.or.jp



婦人検診車完成

婦人検診車は、現在3台で年間約36,000人の子宮がん検診を実施していますが、その内の1台を「あけぼの8号」として平成12年11月に更新整備しました。

全長8.9m、総重量約11t、婦人科検診台アトムET-8300を搭載しております。婦人科検診台は座面の最低位が470mmで、受診者が楽に昇降でき、高齢者にも負担の少ないつくりになっています。また、フットスイッチも操作ミスを防ぐため2連式を採用しました。さらに、内診カーテンシステムにより、受診者のプライバシーが守られたリラックスできる空間を提供することができ、恥ずかしさや緊張感を和らげるよう配慮しました。

厚生労働省及び県衛生統計によれば、全国で5,142名、県では71名が子宮がん死亡しております。平成11年度は、県下69市町村で631回検診車が稼動し、精密検査で早期がんを11名、その他異型上皮等多数発見することができました。

最新車両導入により、子宮がん検診がさらにスムーズに行えることと思います。ご利用のほどよろしくお願いいたします。



子宮がん検診車「あけぼの8号」

マンモグラフィ(乳房撮影)のすすめ



マンモグラフィー車

近年乳がん患者は増加傾向にあります。日本では、乳房のしこりなどの症状に気づいてから受診するケースが多いようですが、その多くは進行がんである確率が高いそうです。

しかし、マンモグラフィ(乳房撮影)は乳房の微細な変化を捉えることができ、乳がんの早期発見に威力を発揮しています。

平成12年2月16日納車された乳房検診車は、総重量8t、全長8.2m、全幅2.27m、全高3.21m、乗車定員5名、発動発電機を装備しております。

撮影装置は、東芝乳房X線撮影装置 MGU-200Bを搭載しております。この機器は、集団検診に対応する乳房用カセットレスX線撮影装置で、18×24cmフィルムが50枚装填できます。AEC検出器はXY方向に移動可能で、乳房サイズ、撮影方向に合わせて移動させ、乳腺組織を確実に捉えることができます。

また、軟X線のわずかな変化を画像化するため、被写体厚と乳腺密度の両面からX線条件を設定できる自動設定機構を採用し、管電圧をリアルタイムに補正します。さらに、自動撮影モードではコントラストの良い画像が得られるように、乳房圧迫圧から自動的に最適なモリブデンフィルタか、ロジウムフィルタを選択します。X線照射終了と同時に圧迫板が自動待避し、被検者の苦痛を和らげることができます。

当協会では、36市町村において乳がん検診を

実施しております。ぜひご利用ください。平成11年度の検診では、乳早期がん(がんの大きさが2cm以内で、わきの下のリンパ節に転移によるしこりが触れないもの)4名、乳進行がん3名、慢性乳腺症117名等が見つかりました。平成12年8月末までにも、早期がん3名(内1名はマンモグラフィ)、進行がん1名が発見されております。



マンモグラフィー車内部

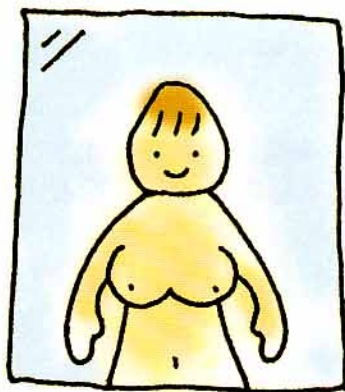
乳がんに対して特に注意が必要な人

乳がんの発生には、エストロゲン(女性ホルモンの1種)の働きが関与しており、注意が必要なのはこのホルモンの働きに関連した人たちです。

- △ 40才以上の人
- △ 未婚の人
- △ 出産経験のない人、初産年齢30歳以上の人
- △ 初経が11歳以前の人
- △ 閉経が55歳以降の人
- △ 肥満している人、高脂肪・高栄養の食事の多い人
- △ 乳腺症になったことがある人
- △ 乳がんになったことがある人
- △ 家族に乳がんになった人がいる人

やってみよう！乳がん自己診断

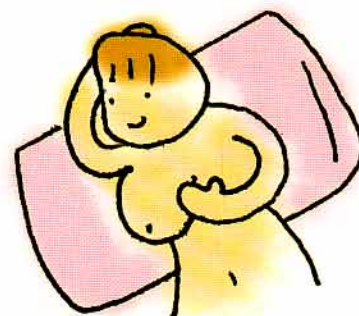
乳がんは他のがんと違って、自分で発見することも、ある程度可能です。年に一回の乳がん検診を受けるとともに、1ヶ月に1回ぐらいは定期的に自己診断をおこなってください。



①鏡の前に立ち、両腕を下ろした状態の乳房の形や姿を覚えておきます。



②両腕をあげて正面、側面、斜めから、くぼみやふくらみ、ひきつれがないか見ます。また乳首のへこみやただれにも、注意します。



③横になって枕が座布団を右肩の下に敷き、右手は頭の下におきます。乳首から渦巻きを描くように、左手の指の腹で軽く圧迫しながら触れていき、しこりがないか調べます。

④同様に左の乳房も調べます。

⑤最後に両方の乳首をつまんで、分泌物がでないかを調べます。

—異常があった場合は、医師の診察を受けてください。

複十字シール運動

実施期間 毎年8月1日～12月31日

わが国の結核状況は先進国の中では下位グループにあり、新規患者は平成9年から3年連続で増え続けています。しかもその増加の幅は拡大しており、悪化傾向に一段と拍車がかかっています。

複十字シール運動は、結核予防のための普及啓発と事業資金を造成する運動で、その募集手段として複十字シールが発行されています。現在では120カ国あまりで発行され、結核予防だけでなく肺がんなどその他の胸部疾患に関する予防まで含めた広範な運動として国際的に進められ定着しています。特に途上国の結核対策援助等にも注がれています。

皆様のご協力をお願いいたします。



善意の募金は…

- (1) 結核予防の教育広報に
- (2) 結核・肺がん等の研究や調査に
- (3) 開発途上国への結核対策援助に
- (4) 結核検診車並びに検診機器等の整備に
- (5) 結核予防婦人会等関係団体の活動費に

がん征圧募金

がんによる死亡者数は29万人を超え（平成11年人口動態統計による）、1981年（昭和56年）から19年間、常に死亡順位1位を占めております。

部位別では1998年（平成10年）にトップになった肺がんがさらに増加し、2位の胃がんは横ばい状態ながら依然5万人を超えております。

この募金はがんの予防知識の普及や学術研究など、がん征圧事業を推進していくために行われている活動です。皆様のご協力をお願いいたします。

● 継続寄附（維持会員）

普通会員 一〇 1,000円以上
特別会員 一〇 10,000円以上

善意の募金は…

- (1) 調査研究への助成に
- (2) がん知識の普及、啓発に
- (3) がん征圧月間と全国大会などの活動に

● 一時寄付

快気祝い、還暦・古希などのお祝いに際してのご寄付、香典返し等の一時的なご寄付

わたしの街から

吉海町保健センター

保健婦 村上 愛子さん



吉海町は、瀬戸内海のほぼ中央に位置し、今治沖約6 kmの海上に浮かぶ周囲58 kmからなる島（大島）で、山岳部を隔て宮窪町が隣接しています。平成11年5月に全通した「瀬戸内しまなみ海道」により、吉海町を訪れる観光客も増えています。

吉海町の人口は約5,000人で、高齢化率は34.9%と全国平均を大幅に上回っており、高齢化が進んでいます。

保健センターは、平成11年4月から稼動しており、職員はセンター長（課長兼務）、保健婦2人、栄養士1人、事務員2人（1人は兼務）で、常時センターにいるのは4人です。

今年の4月から介護保険制度が始まり、老人保健事業を実施していく中で生活習慣病等の疾病や、介護を要する状態にならないよう予防的な活動の重要性を感じています。特に、健診では受診率の向上も大切ですが、受けたあとの事後指導が大切で、生活習慣の改善に結びつくよう援助していく必要があると思っています。

そのため、健診の結果の返し方については一番気を使う部分で、「一日でも早くよりわかりやすい健診結果の返し方を」と考えています。

現在の返し方は、要精密検査の方や訪問が必要と思われる要指導の方には家庭訪問を実施し、その他

ておられるのかな」「結果の説明会をした方がいいのかな」といつも思っていました。

そこで、今年の6月の健診結果を返す際に、アンケート調査を実施いたしました。アンケートは、基本健診を受診された552人の方全員に、結果と一緒にハガキを送付しました。回収率は54%で、男性が111枚、女性が185枚でした。

健診結果の返し方については、「今までと同様に郵送で良い」が266人、「結果説明会をしてほしい」が22人、「保健センターに取りに行く」が3人、「わからない」が2人、「未回答」が3人でした。

結果の返し方についてのご意見では、「結果を早く返してほしい」という意見が一番多く見られました。この件につきましては、やはり検診機関のご協力を頂くしかないとしますので、できるだけ早く結果が返せるようご協力をお願いしたいと思います。

健診結果を返すとき、一番嬉しいのは健診を受けることにより自分の生活習慣の悪い所に気づき、悪いところが改善され、その結果として昨年の結果より今年の結果が良くなっている時です。

今後も、アンケートの結果を考慮し、健診を受けられた方1人1人が、生活習慣の悪いところに気がついて、改善できるような健診後の指導及び援助をしていきたいと思っています。



吉海町保健センター

異常がない方、放置してもよい方、また以前に何回も指導をした方など保健婦が「今回はいいかな」と思う方は、郵送をしています。郵送の際、指導の必要な方については、検査の結果にコメントを加えたり、電話でお話したり、健康相談の場で指導をしたりしています。

しかし、「これでいいのかな」「住民の方は満足し

編集後記

まだまだ布団からでるのがツライ朝が続きますが、日ごとに春の足音は近づいてきているようです。先日も海岸端の土手沿いには菜の花が、山の斜面沿いには水仙が咲いていました。寒く冷たい冬の後にはかならず、暖かくておだやかな春がやってくる…。四季のうつろいに喜びを感じる今日この頃です。



財団法人 愛媛県総合保健協会

■ 総務部	松山市味酒町1丁目10-5	(089)941-7882
■ 事業部	松山市宮西1丁目5-11	(089)926-7400
■ 健診部	松山市宮田町6-6	(089)941-7905
■ 環境部	松山市味酒町1丁目10-5	(089)941-7977
■ 松山診療所	松山市味酒町1丁目10-5	(089)941-2783
■ 東予支所	新居浜市一宮町1丁目14-18	(0897)32-5428
■ 南予支所	宇和島市鶴島町3-1	(0895)22-3128